

報道提供資料

令和 3年12月 8日

| | |
|-----------------------------|---------------|
| ●この資料の取扱いについては、次のとおりお願いします。 | |
| ラジオ・テレビ・インターネット | 解禁日は設定していません。 |
| 紙面 | 解禁日は設定していません。 |

| | |
|------------------------------------|---|
| お問い合わせ先 | |
| 羽曳野市教育委員会事務局 世界遺産・文化財総合管理室 文化財課 | |
| 電話 | 072-958-1111 (代) (内線 4480・4483・4484) |
| 直通 | 072-947-3904 |
| メール | bunkazai@city.habikino.lg.jp |
| 担当 | 吉澤・井原・米田 |

| | |
|--------|--|
| 表 題 | 史跡古市古墳群峯ヶ塚古墳の確認調査成果及び発掘調査現場の公開について |
| 内 容 | <p>峯ヶ塚古墳の造出し（つくりだし）の全容を確認するため、発掘調査を行いました。</p> <p>【過去の調査】 平成2年度の調査で初めて古墳の造出しの存在を確認しました。その後、造出しの規模を確認するため、令和元年度、令和2年度に発掘調査を行いました。 令和2年度の調査では、造出しの西辺を確認することを目的に行いましたが、想定以上に造出しの規模が大きく、確認することができませんでした。</p> <p>【令和3年度の調査】 今年度は、令和2年度に確認できなかった造出しの西辺を確認するため、更に西側で発掘調査を行いました。その結果、造出しの西辺を確認することができました。 これにより造出しの規模は約20mの長さを有することが判明しました。 また、周濠内からは転落した葺石、朝顔形埴輪、ほぼ完存の円筒埴輪が出土しました。破片で見つかることが多いなかで全容が分かる状態で見つかることは大変貴重な成果です。</p> <p>【現場見学会】 発掘調査現場の見学会を以下のとおり行います。 ・場所：峯ヶ塚古墳の墳丘北側 ・日程：令和3年12月11日（土） ・時間：午前10時～午後3時 ※雨天は中止です。 ※駐車場は用意しておりませんので、公共の交通機関でお越しください。 ※やむを得ずお車で来られる場合は有料駐車場をご利用ください。また近隣のご迷惑になりますので、路上駐車、その他商業施設の駐車場等での駐車は絶対にしないで下さい。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用にご協力をお願いします。 ※詳細については添付資料をご覧ください。 また、写真データが必要な場合は、上記、問い合わせ先までご連絡ください。</p> |

令和3年度史跡古市古墳群 峯ヶ塚古墳 発掘調査（第18次調査）

羽曳野市教育委員会

峯ヶ塚古墳の造出しの規模・形状・構造などの全容を把握するため、発掘調査を行いました。

1. 峯ヶ塚古墳の概要

・古墳の概要

峯ヶ塚古墳は羽曳野市軽里2丁目に所在しています。古市古墳群は宮内庁によって陵墓等に治定されている古墳が多くを占めており、普段は立ち入ることができませんが、この中でも峯ヶ塚古墳は宮内庁の管轄となっておらず、立ち入ることのできる数少ない古墳です。

墳丘は全長96m、後円部直径56m、前方部幅74.4mで二段に築かれ、くびれ部の北側には造出しを設けます。墳丘の周囲には内濠がめぐり、その外側には内堤をはさんで外濠がめぐります。

後円部墳頂部で見つかった石室は、現墳頂より約3m下に築かれ、盗掘で天井や側壁の石は抜き取られていました。東西約4.3m×南北約2.2mの大きさの長方形で、石室内部の高さは石室背面の土層の状態から約1.9mと復元できます。未調査部分がありますが、現時点では竪穴式石室と考えられます。また、石室には刳抜き式の舟形石棺が安置されていたと考えられます。



・国の史跡指定・世界文化遺産への登録

古墳の構造や当時の社会状況などを理解する上で欠かせないことから、恒久的な保存のために昭和49年4月12日に国の史跡に指定されました。その後、古市古墳群全域の一体性が重要であることから、平成13年1月29日に史跡古市古墳群として統合されました。このことより「史跡古市古墳群 峯ヶ塚古墳」として名称が改められることとなりました。

また、令和元年7月には、第43回ユネスコ世界遺産委員会で審議され、大阪府内初の世界文化遺産となった「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産の一つです。

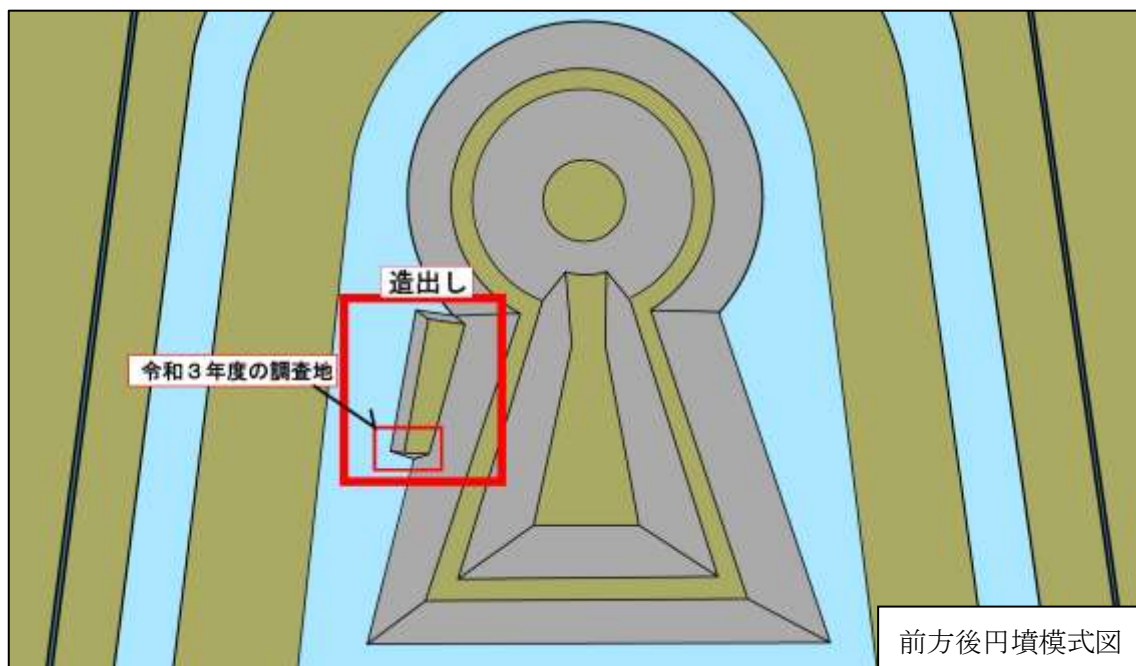
羽曳野市ではこの貴重な峯ヶ塚古墳を保存、活用するため、これまで17次に及ぶ調査を行ってきました。今年度は古墳の造出しの西辺を確認し、過去の調査成果をあわせて造出し全体の規模や構造などの情報を収集して古墳の復元整備に役立てるものです。

2. 過去の調査

・造出しの発見

平成2年度に発掘調査を行ったところ、古墳前方部の北側で「造出し」とよばれる被葬者のために儀式をおこなったとされる場所がはじめて確認されました。

しかし、調査範囲の都合上、造出し全体の規模を把握するには至りませんでした。この時に確認したのは東西に延びる造出しの中ほど辺りでした。

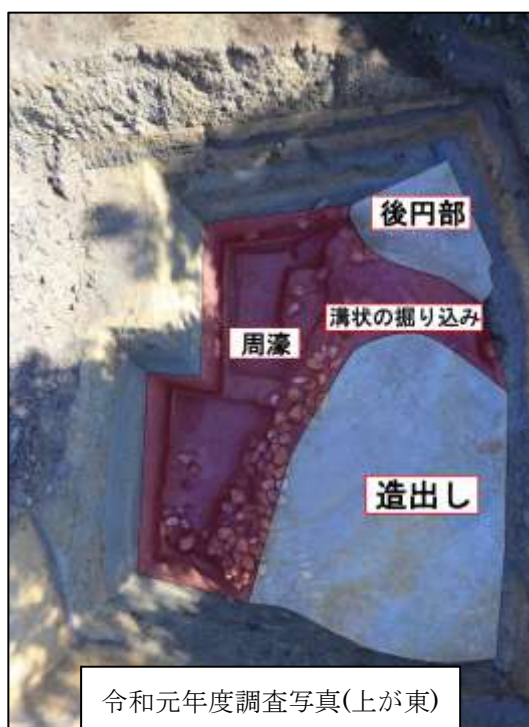


・造出しの範囲確認調査

平成 2 年度に検出した造出しの規模などを確認するため、令和元年度、令和 2 年度に発掘調査を行いました。

令和元年度は、古墳のくびれ部東寄りで調査を行い、造出しの東辺と後円部裾を確認しました。また、古墳の後円部と造出しは溝状に掘り込んで区別していたことが分かりました。

令和 2 年度は、造出しの西辺部を確認すべく調査を行いましたが、想定よりも造出しの規模が大きく、西辺を確認することができませんでした。



2. 今年度の調査

・発掘範囲

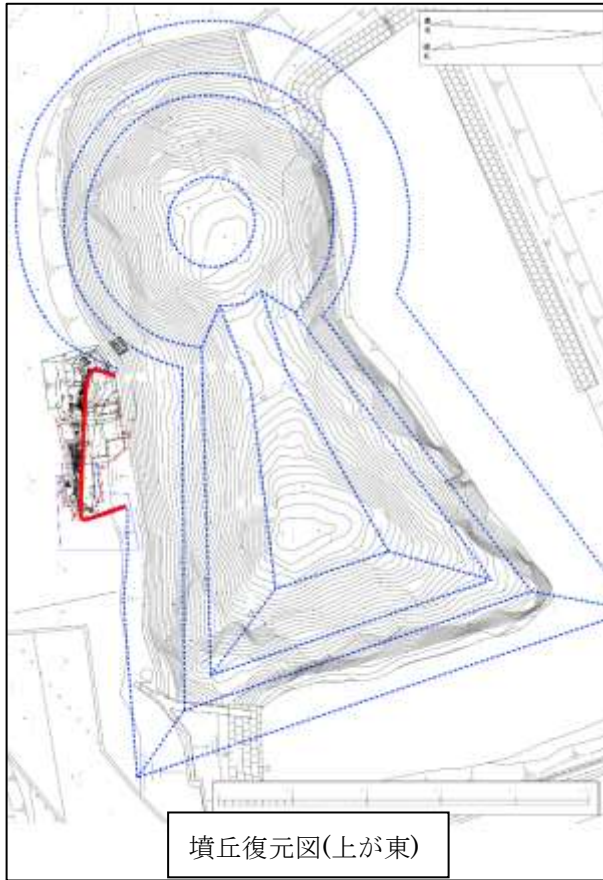
令和 3 年度の発掘範囲は、令和 2 年度の発掘範囲の西端と重なるように、古墳前方部の北側に設定しました。

・調査成果

昨年度の発掘範囲から西側に約 1.5 m のところで、造出しが墳丘側に屈曲していることが判明しました。前方部側面に接続するものと考えられます。

墳丘の一部と造出しは後世に削平を受けており、堆積層からは、墳丘を崩した際に混入したと考えられる盛土の塊が所々で確認できます。

今回の調査及び過去の調査成果から造出しの規模は約 20 m の長さを有することになります。



・出土遺物

古墳の周濠からは古墳から転落した葺石、朝顔形埴輪、木製品の一部と考えられる板、そして完存の長さ約90cmの円筒埴輪が出土しました。破片で見つかることが多いなかで全容が分かる状態で見つかることは大変貴重な成果です。



円筒埴輪出土状況写真



朝顔形埴輪出土状況写真

・発掘調査現場の一般公開を行います。

場所：峯ヶ塚古墳の墳丘北側

日時：令和3年12月11日（土）

時間：午前10時～午後3時

※雨天は中止です。

※駐車場は用意しておりませんので、公共の交通機関でお越してください。

※やむを得ずお車で来られる場合は有料駐車場をご利用ください。また近隣のご迷惑になりますので、路上駐車、その他商業施設の駐車場等での駐車は絶対にしないで下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用にご協力をお願いします。

【問い合わせ】

羽曳野市教育委員会事務局
世界遺産・文化財総合管理室 文化財課

担当 吉澤・井原・米田

電話 072-958-1111（代）
（内線 4480・4483・4484）

直通 072-947-3904

メールアドレス
bunkazai@city.habikino.lg.jp